



伊藤若冲《菜蟲譜》
期間限定公開
12月3日〜15日

ー吉澤コレクションと朝日森天満宮の宝物を中心にー

特別企画展

源氏物語とみゃび

2024年11月2日(土)〜12月15日(日)

会期中の休館日／毎週月曜日(11月4日は開館)、祝日の翌日(11月5日)
○開館時間／午前9時30分〜午後5時
○観覧料／一般520円(470円) ()内は20名以上の団体料金
※大学生以下・障害者手帳等をお持ちの方とその介添者1名は
観覧無料(学生証・障害者手帳をご提示ください)
※団体以外は予約不要。現金のみ。入場
制限を行う場合がございます。



日光例幣使
参拝の神社

佐野市立吉澤記念美術館

上段 ①福岡青嵐《紫式部》当館蔵・昭和前期 ②芝川又右衛門《源氏蛤蒔絵硯箱》1895年 ③住吉広行《絵合・須磨・明石》江戸時代後期 ④山本茜《源氏物語シリーズ第一帖「桐壺」》2013年 ⑤山本茜《二人静》2014年 ⑥住吉広行《闘鶏・蹴鞠図》
江戸時代後期 ⑦⑧⑨無款《源氏物語色紙貼交屏風》より「空蝉」「明石」「紅葉賀」江戸時代前期 ⑩伊藤若冲《菜蟲譜》重要文化財・当館蔵 ⑪⑫をのぞきすべて部分、⑬(個人蔵)をのぞきすべて吉澤コレクション ⑭⑮〜⑲当館寄託 ⑳川越裕介撮影
下段 ①②無款《竹取物語絵巻》江戸時代 ③福王雪岑《興楽図巻》江戸時代中期 ④啓宗《東常天神像》室町時代★ ⑤小堀頼音《天満宮御像》1926年★ ⑥⑦⑧すべて部分、朝日森天満宮蔵 ★は当館初展示

源氏物語 とみやび

2024年11月2日(土)～12月15日(日)



一部展示替あり。開会後に当館ホームページでご確認ください。

①福王雪峯《舞楽図巻》江戸時代中期 ②小堀堀音《天満宮御像》1926年★ ③無款《竹取物語絵巻》江戸時代
④啓宗《東常天神像》室町時代★ ⑤山本茜《源氏物語シリーズ 第一帖「桐壺」》2013年 ⑥山本茜《源氏物語シリーズ 第五帖「若紫」》2011年、当館蔵★ ⑦山本茜《二人静》2014年 ⑧住吉広行《絵合・須磨・明石》江戸時代後期 ⑨吉田秋光《子の日》昭和前期 ⑩⑪無款《源氏物語色紙貼交屏風》より「紅葉賀」「螢」江戸時代前期／①～④朝日森天満宮蔵 ⑤⑦⑨～⑪吉澤コレクション ⑥個人蔵 ★は当館初展示 ⑥⑦川越裕介撮影

吉澤コレクションと朝日森天満宮(佐野市)の宝物で構成し、「源氏物語」をはじめとする王朝文学、舞楽など王朝文化の「みやび」を絵画と工芸でお楽しみいただく展覧会です。

日本美術を華やかに彩ってきた王朝文化の美意識に触れ、佐野の中世～近代絵画と工芸の優品を一堂にご覧いただける貴重な機会です。ぜひご観覧ください。

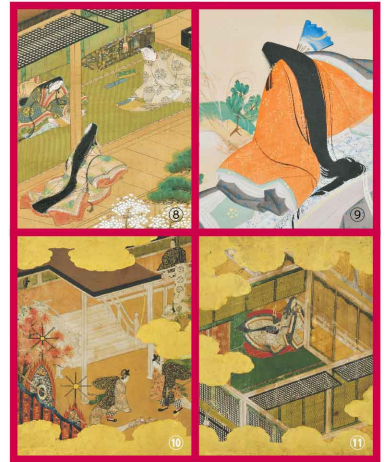
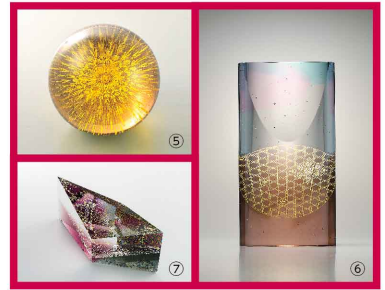
展覧会はおもに次の3つのパートで構成します。最初に、朝日森天満宮(佐野市)の絵画をご紹介します。例幣使街道と日光脇往還が合流する重要な宿場町、「天明宿」の鎮守である同社には、天神様(菅原道真公)を描いた絵画や和歌短冊、絵巻物などが奉納されてきました。同社の宝物群からは、佐野へ「みやび」なものが運ばれてきた様子を知ることができます。本展では、室町時代から近代にかけて変化する天神像や、華やかな絵巻物をえりすぐってご紹介します。

次に、源氏物語シリーズに取り組む截金ガラス作家・山本茜の作品7点を展示します。新収蔵品を含む当館収蔵品すべてが揃う初めての機会となります。人物を描かずに、しかし鮮烈に表現される源氏物語や古典文学のイメージをご堪能ください。

最後に、吉澤コレクションや市内所在の「やまと絵」をご覧いただきます。長大で登場人物の多い「源氏物語」は、どの場面をどのように描くのか、さまざまな工夫がなされてきました。また、王朝儀礼や歴史上の人物を正確に再現するために、研究が重ねられてきました。江戸から近代の、目にも美しい多彩な取り組みをぜひお楽しみください。

この展覧会は令和3年(2021)に開催するもコロナウイルス感染対策のため19日間で終了した「みやび」展をもとに、作品を増補した「パワーアップバージョン」です。

なお会期末には当館の代表的所蔵品である伊藤若冲《菜蟲譜》(重要文化財)の期間限定公開を行います。



とちぎデジタルミュージアム
SHUGYOKU(珠玉)

デジタル画像で
源氏物語色紙貼交屏風を
くわしく楽しもう!



美術館ボランティア 養成講座のお知らせ

当館でのボランティア活動(展示室内の看視・ご案内等)に興味がある方向けに開催します。メンバー向けの学習会・作品鑑賞会を兼ねて実施します。お気軽にご参加ください。

日 時: 11月2日(土) 午後1時～
場 所: 地域交流センター(美術館内)
申 込: 電話(0283-86-2008)または美術館ホームページ(yoshizawa@city.sano.lg.jp)にてお申し込みください。氏名(ふりがな)・電話番号(できれば携帯電話)をお知らせください。

【会期中の催し物】 状況により変更になる場合があります。当館HP・Instagram等でご確認ください。

1) 出品作家によるスライドトーク

「源氏物語と私—新収蔵作品「若紫」を中心に—

講 師: 山本茜氏
日 時: 2024年11月16日(土)
午後1時～午後2時
場 所: 地域交流センター(美術館内)
定 員: 50名(低学年は保護者同伴)
申込受付: 10月17日(木)12時～

2) 佐野市人間国宝田村耕一陶芸館 開館20周年記念スタンプラリー

日 時: 2024年8月1日(木)～12月29日(日)
(各館の休館日を除く)
※下記のうち、田村耕一陶芸館を含む3か所のスタンプまたは入館券を集めた方にプレゼント贈呈!
佐野市人間国宝田村耕一陶芸館/佐野市立吉澤記念美術館/佐野市郷土博物館/佐野市葛生伝承館/佐野市葛生化石館/人間国宝田村耕一美術館/東石美術館/安藤勇寿「少年の日」美術館

3) 作品鑑賞会 ～当館学芸員と一緒～

日 時: 2024年
11月2日(土)
11月30日(土)
12月15日(日)
各日午後2時～(40分程度)
場 所: 佐野市立吉澤記念美術館 展示室(エントランス券)
※要当日観覧券、予約不要

次回展覧会

特別企画展

「丸山瓦全と佐野の文化財保護(仮)」

2025年1月25日(土)～3月9日(日)

ごいっしょに ～佐野の文化散歩～

※休館日などについては、各館にお問い合わせください

佐野市葛生伝承館 0283-84-3311 (入館無料)
「羽子板展」10/8(火)～12/15(日)

佐野市葛生化石館 0283-86-3332 (入館無料)
「生き物がつくる鉱物の話」展7/13(土)～11/24(日)

佐野市郷土博物館 0283-22-5111 (入館無料・企画展期間有料)
第88回企画展
「激動の戦国期を生きた佐野氏と唐沢山城」
10/5(土)～12/8(日)

佐野市人間国宝田村耕一陶芸館
0283-22-0311 (入館無料)
「茶陶展と暮らしの器」11/15(金)～2025/3/16(日)

美術館へのアクセス



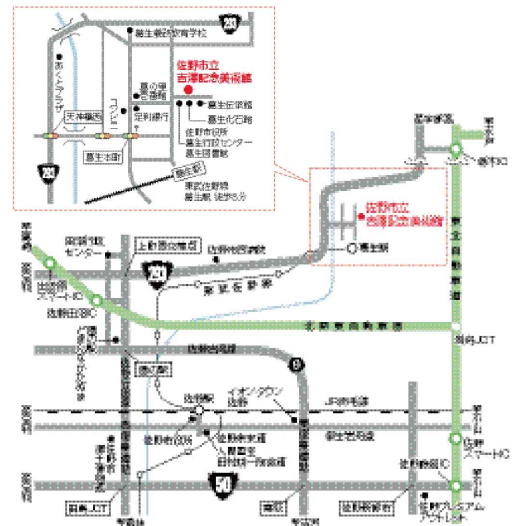
車 北関東自動車道佐野田沼ICから15分
→国道293号線を利用
→葛生行政センター北側
※宇都宮中心部から60分



電車 東武佐野線 葛生駅徒歩8分



※所要時間は目安です



ご来館の
前に!

予告なく会期の変更や開催中止・臨時休館となる場合があります。最新情報を当館ホームページ、Instagram(@yoshizawa_muse_sano)またはお電話にてご確認ください。

